3-072-314-**02** (1)

ビデオカメラレコーダー Hi8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

video Hi8 Handycam

CCD-TRV96K

こんなことができます

さらにこんなことができます。

必ずお読みください

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません
万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がなされなかった場合、画質や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面、ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

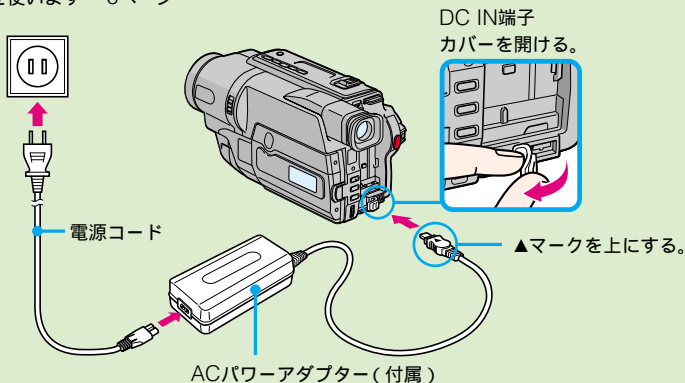
本書内の写真について
液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

目次

とにかく撮って見る

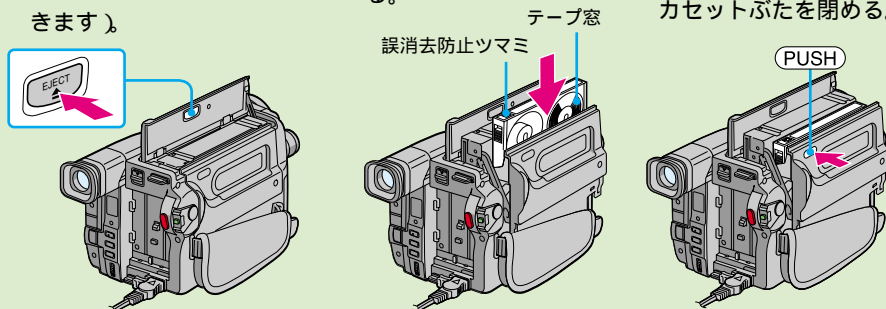
ここでは本機の使い方を簡単に説明します。
詳しくは（　）内のページをご覧ください。

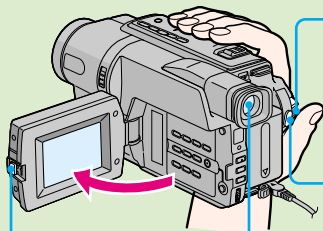
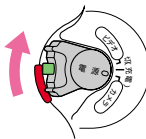
1 電源をつなぐ（9ページ）

屋外ではバッテリーを使います →6ページ

2 カセットを入れる（12ページ）

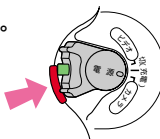
❶ **カセットぶたを開け、≜EJECT（カセット取出し）ボタンを押す（カセット入れは自動で上がって開きます）。**

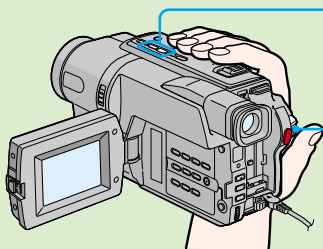
❷ **テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上側にしてカセットを入れる。**

❸ **PUSH マークを押して、カセット入れを閉める（カセット入れは自動で下がります）。**
カセットぶたを閉める。

3 撮影する（13ページ）

❶ **レンズキャップをはずす。**

❷ **緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。**

❸ **OPENボタンを押しながら、液晶画面を開ける。**
液晶画面に画像が映る。

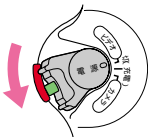
❹ **赤いボタンを押す。**
撮影が始まる。
もう一度押すと止まる。

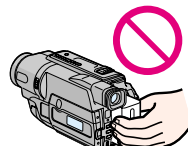
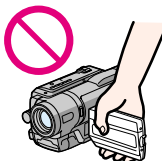
ファインダー
液晶画面を閉じているときは、
この部分に目を当てて画像を見ます。
ご自分の視力に合わせて、視度を調節してください。（17ページ）

お買い上げ時には日付・時刻の設定はされていません。撮影する前に日付・時刻を合わせてください。（10ページ）

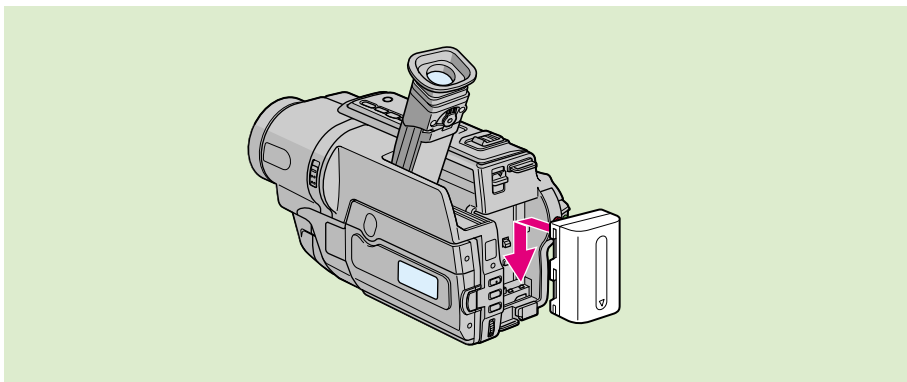
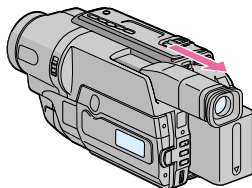
4 液晶画面で見る（21ページ）

❶ **緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。**

❷ **◀◀巻戻しを押してテープを巻き戻す。**

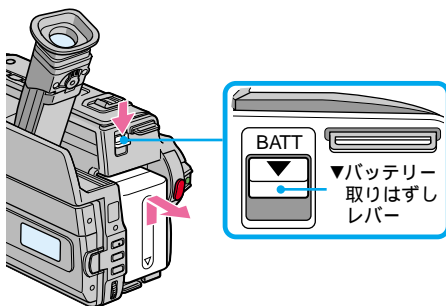
❸ **►再生を押すとテープが再生される。**

再 生

ご注意

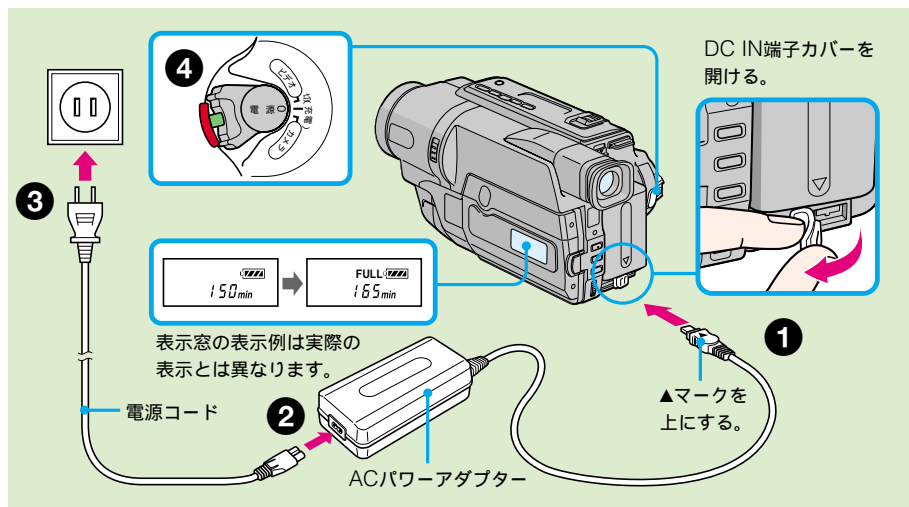
ファインダーや液晶画面またはバッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

準備1 電源を準備する

バッテリーを取り付ける

容量の大きいバッテリーを使用するときは
容量の大きいバッテリー（NP-FM70/QM70/QM71/FM90/FM91/QM91）をご使用のときはファインダーをのばしてご使用ください。

バッテリーを押しながらカチッとロックするまで下へずらす。

本体から取りはずす

1. ファインダーを上げる。
2. バッテリー取りはずしレバーを押しながらバッテリーを上へずらし、取りはずす。

バッテリーを充電する

バッテリーは充電してからお使いください。本機でバッテリーの充電ができます。
本機の電源には、**“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）**を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

“インフォリチウム”バッテリーについて詳しくは63ページをご覧下さい。

ご注意

ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

充電中の表示窓の表示

以下の場合、何も表示が出ない、または表示が点滅することがあります。

- ACパワーアダプターが正しく取り付けられていない。
- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- バッテリーが故障している。

❶ ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

❷ 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

❸ 電源コードをコンセントにつなぐ。

❹ 電源スイッチを「切（充電）」にする。

充電が始まると、表示窓にバッテリー残量時間が表示される。充電が終わると、バッテリー残量表示が「▭」になる（**実用充電**）。そのまま約1時間充電を続けると表示窓に「FULL」が表示され、バッテリーを若干長く使える（**満充電**）。

バッテリーの充電が終わったら

ACパワーアダプターをDC IN端子から抜く。

次のページへつづく

表示窓に表示されるバッテリー残量時間は
ファインダーを使用したときの連続撮影時間の目安です。

バッテリー残量を計算するまでは
表示窓には「----min」が表示されます。

海外でも充電できます
詳しくは64ページをご覧ください。

バッテリーは
室温10℃〜30℃で充電することをおすすめします。

バッテリー残量の表示時間が充分なのに電源がすぐ切れるときは
満充電すると正しく表示されます。

ご注意

右の表は25℃で撮影、再生したときの時間の目安です。低温では使用時間が短くなります。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持ったリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）には InfoLITHIUM M SERIES マークがついています。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

充電時間

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-FM30（付属）	145（85）
NP-FM50	150（90）
NP-FM70/QM70	240（180）
NP-QM71	260（200）
NP-FM90	330（270）
NP-FM91/QM91	360（300）

使い切ったバッテリーを25℃で充電したときの時間（約　分）。
まわりの温度によりバッテリーの温度が極端に高いまたは低いと、充電時間が長くなることがあります。

撮影時間

バッテリー	ファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時	実撮影時*	連続撮影時	実撮影時*
NP-FM30（付属）	165	90	120	65
NP-FM50	265	145	195	105
NP-FM70/QM70	540	295	400	220
NP-QM71	640	350	465	255
NP-FM90	820	450	600	330
NP-FM91/QM91	955	525	695	380

満充電してからの時間（約　分）。
* 録画、スタンバイ、電源入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-FM30（付属）	120	175
NP-FM50	195	280
NP-FM70/QM70	400	570
NP-QM71	465	675
NP-FM90	600	865
NP-FM91/QM91	695	1010

満充電してからの時間（約　分）。

実用充電での撮影時間と再生時間は満充電のおよそ90％です。

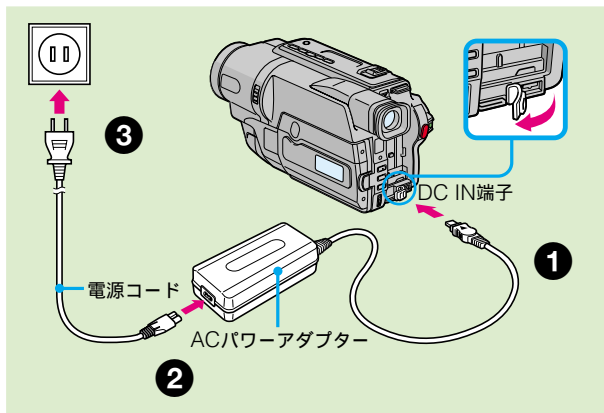
コンセントにつないで使う

ご注意

- バッテリーをつけたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。
- ACパワーアダプターは、コンセントの近くでお使い下さい。
  本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

自動車の電源では

別売りのカーバッテリーアダプターでお使いになれます。詳しくはカーバッテリーアダプターの取扱説明書をご覧ください。

テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

1 ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

2 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

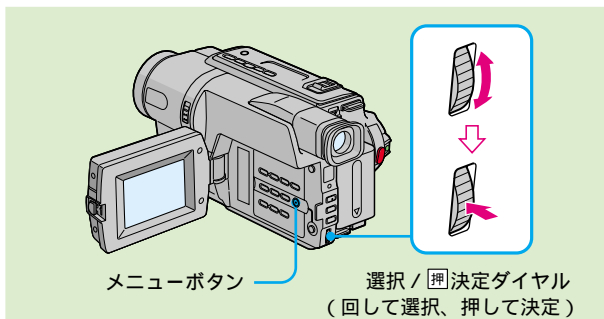
3 電源コードをコンセントにつなぐ。

準備

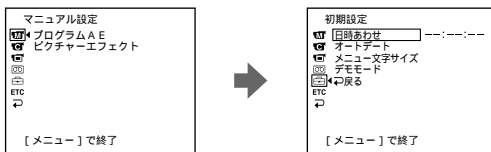
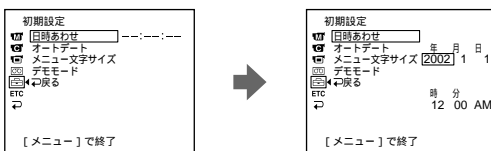
準備2 日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定して下さい。設定しないと電源を入れ、撮影状態にするたびにお知らせメッセージが出ます。

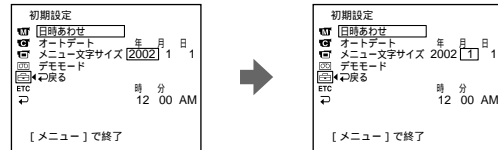
半年近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して、日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（66ページ）

本機は海外でもお使いいただけます
海外でご使用の際は、本機の時計を現地の時刻に合わせてください（64ページ）。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

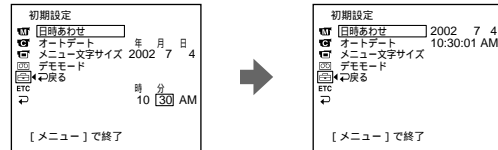
1 電源スイッチを「カメラ」にして
メニューボタンを押す。

2 **選択／押決定ダイヤルを回して を選び、押して決定する。**

3 **選択／押決定ダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、押して決定する。**

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して決定する。

年表示は次のように変わる。

❺ 手順❹と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

❻ 選択／押決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と同時に押して決定する。

時計が動き始める。

❼ メニューボタンを押す。

メニュー画面が消え、時刻表示が出る。

オートデート機能について
メニューでオートデート機能の「入」「切」を変えることができます。次のときはオートデート機能が１日2回以上働きます。

- 日時を合わせ直したとき
- カセットを入れ換えたとき
- 10秒間以内に撮影を止めたとき
- メニューで「オートデート」を「切」にしてからまた「入」に戻したとき

日付・時刻を確認する

日付を確認する→日付ボタンを押す。
時刻を確認する→時刻ボタンを押す。
日付と時刻を同時に確認する→日付ボタンと時刻ボタンを押す。
もう一度押すと消える。

オートデート機能

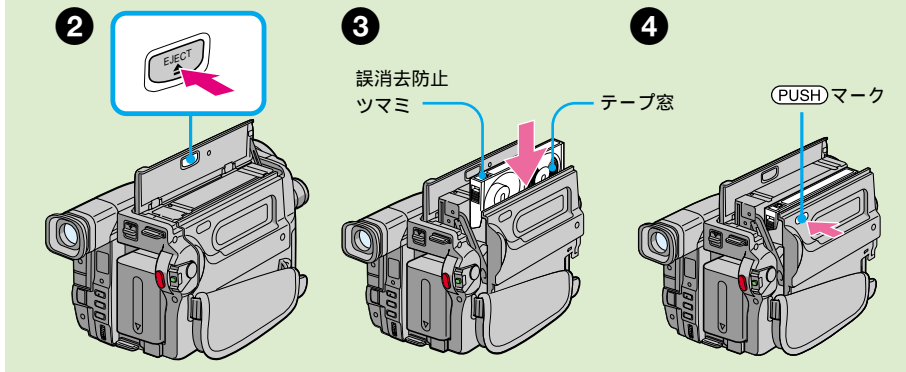
本機をはじめてお使いになるときは、撮影する前に日付、時刻を合わせてください（10ページ）。1日1回、撮影のはじめの10秒間に撮影日が自動的に記録されます。

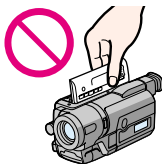
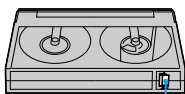
準備3 カセットを入れる

Hi8（ハイエイト）方式で記録するときは、Hi8マークのついたHi8テープを使います。

❷

❸

❹

ご注意

- カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。
- (PUSH)マーク以外を押しているとカセット入れが閉まらないことがあります。
- カセットぶたをつかんで本機を持ち上げないでください。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらし「赤」にします。

❶ **電源を準備する。（6ページ）**

❷ **カセットぶたを開け⏏EJECT（カセット取出し）ボタンを押す。**

カセット入れが自動的に上がって開く。

❸ **カセットを入れる。**

テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にして入れる。

❹ **(PUSH)マークを押して、カセット入れを閉める。**

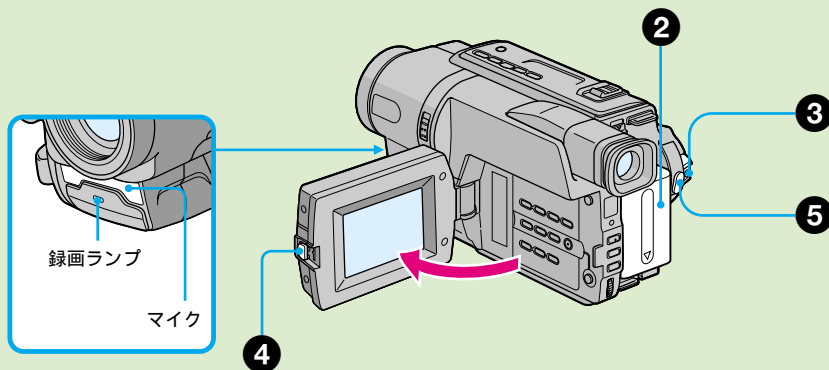
カセット入れが自動的に下がる。

❺ **カセットぶたを閉める。**

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順❸で取り出す。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

ご注意

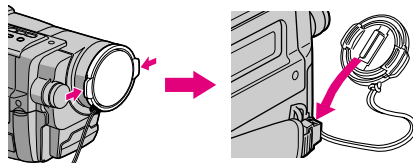
- グリップベルトをしっかりしめてください。
- マイクに手が触れないようにしてください。

長時間録画したいときは
メニューの「録画モード」を「LP」にします（52ページ）。録画時間がSP（標準）モードの2倍になります。本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。

きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、きれいにつながります。バッテリーの交換時は電源スイッチを「切（充電）」にしてください。

同じテープに、SPモードで撮影した映像とLPモードで撮影した映像を混在させると
モードの境目で再生画像が乱れます。

テープカウンターを「0：00：00」にするときは
カウンターリセットボタンを押します（71ページ）。

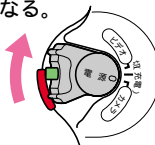
❶ レンズキャップを取りはずし、グリップベルトに取り付ける。

❷ バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1～3」（6～12ページ）をご覧ください。

❸ 緑のボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

撮影スタンバイになる。

撮る

次のページへつづく

撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには電源スイッチを一度「切（充電）」にしてから、「カメラ」に戻して撮影スタンバイにするか、電源スイッチはそのままで、もう一度スタート／ストップボタンを押すと撮影が始まります。ただしカセットが入っていなければ、撮影スタンバイが5分以上続いても電源は切れません。

ご注意

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

液晶画面を使って撮影するときのバッテリー使用時間は
ファインダーを使った撮影時間よりも若干短くなります。

液晶画面は
屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ファインダーでの撮影をおすすめします。角度を調整する場合は、必ず90°まで開いた状態で行ってください。

❹ OPENボタンを押しながら液晶画面を開ける。

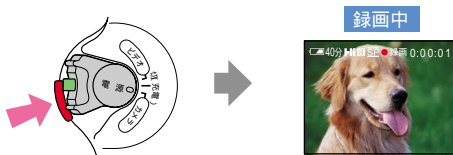
ファインダーの画像は消える。

❺ スタート/ストップボタンを押す。

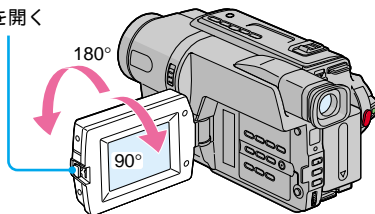
撮影が始まり、「●録画」の表示が出る。

録画ランプが点灯する。

もう一度押すと止まる。

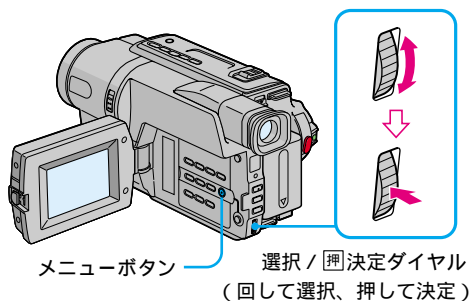
ファインダーで撮影中はファインダー内に録画ランプが点灯します。

撮影が終わったら

1. **電源スイッチを「切（充電）」にする。**
2. **液晶画面を閉じる。**
3. **カセットを取り出す。**
4. **レンズキャップを取り付ける。**
5. **バッテリーを取りはずす。**

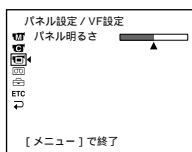
液晶画面を調節する

液晶画面は90°まで開きます。また、レンズの方向に180°まで、ファインダーの方向に90°まで回転し、角度を調節できます。

液晶画面を閉じるときは、液晶画面を垂直にしてから本体に向かって閉じます。

液晶バックライトの明るさは
メニューの「パネルバックライト」（51ページ）で調節することができます。調節しても記録される画像に変化はありません。

液晶画面の明るさを調節する

1　メニューで▣の項目の「パネル明るさ」を選ぶ。（51ページ）

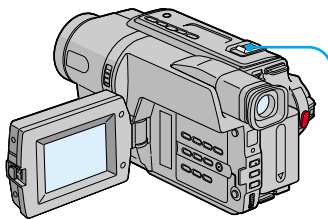
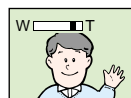
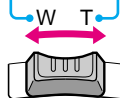
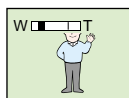
2　選択／押決定ダイヤルを回して、液晶画面の明るさを調節する。

撮る

近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームについて
- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は40倍または240倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。

ズームする

ズームレバーを動かす。

軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。
使いすぎると見づらい作品になります。

20倍を超えるズームはデジタルズームになります。

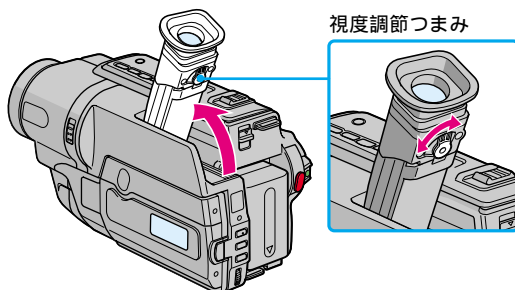
デジタルズームを使うには、メニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。（50ページ）

このラインよりT側がデジタルズームになります。メニューで「デジタルズーム」の倍率を選ぶと表示されます。

ファインダーバックライトの明るさは
バッテリーを取り付けている場合、メニューの「VFバックライト」（51ページ）で調節することができます。調節しても記録される画像に変化はありません。

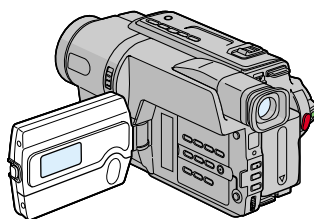
ファインダーの視度を調節する

液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせて、ファインダー内の文字がはっきり見えるように調節します。

ファインダーを上げて、視度調節つまみを動かす。

対面撮影では
- 液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。
- オートデート機能が働いているとき、日付表示は左右が反転しますが、記録される日付は反転されません。

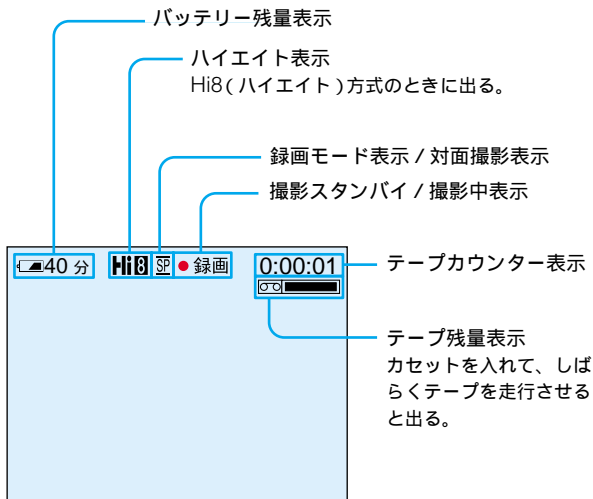
対面撮影中は
日付・時刻ボタンは働きません。

対面撮影する

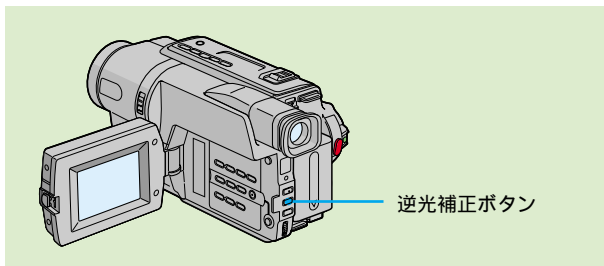
ファインダーと液晶画面で画像を確認できます。被写体が自分で画像を確認したいときなどに使用してください。

電源スイッチを「カメラ」にしたとき
液晶画面を180°**回転させる。**
ファインダーと液晶画面に☺が出ます。
撮影スタンバイ中には❚❚●、撮影中には●が表示されます。その他の表示では左右が反転するものもあります。また、表示が出ないものもあります。

バッテリー残量表示について
連続撮影時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

逆光補正をする

逆光補正中に明るさボタンを押すと
逆光補正は解除されます。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映るときなどに明るさの補正をします。

電源スイッチを「カメラ」にしたとき
逆光補正ボタンを押す。
逆光補正表示◙が出ます。
逆光補正ボタンをもう一度押すと解除されます。

暗闇で撮るーNIGHTSHOT（ナイトショット）

ご注意

- 昼間の屋外等の明るいところではお使いにならないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合いにくいときは、マニュアルフォーカスをご使用ください。

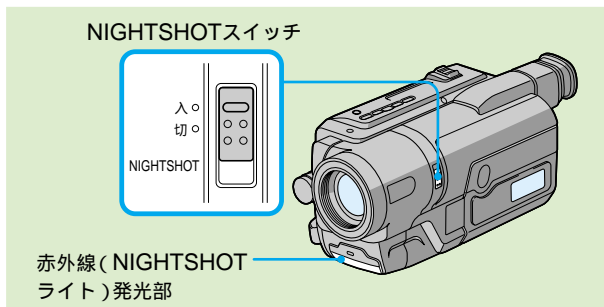
NIGHTSHOT中は以下の操作ができません

- 明るさ調節
- プログラムAE

NIGHTSHOTライトは
赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。

夜間に動植物を観察するときやキャンプなど、暗い場所で撮影することができます。

電源スイッチを「カメラ」にしたとき
NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。

NIGHTSHOT表示◉と“ NIGHTSHOT ”が点滅します。
NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

NIGHTSHOTライトを使う

NIGHTSHOTライトを使うと画像がよりはっきりします。メニューで「N.S.ライト」を「入」にします。（50ページ）

（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

日時を入れる

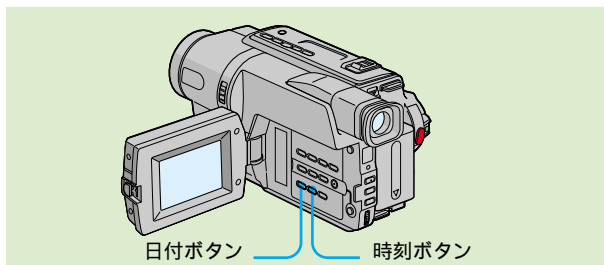
ご注意

手動で記録した日時は消せません。

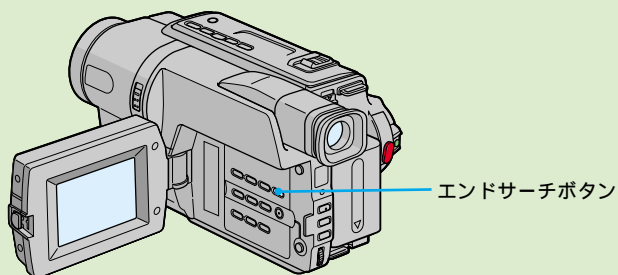
画面に日時を重ねて記録しないときは
あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影のときは日時を消しておくことをおすすめします。

日付・時刻を画像にかさねて記録します。
電源スイッチを「カメラ」にしたとき以下のボタンを押す。

日付ボタン→日付を記録する。
時刻ボタン→時刻を記録する。
日付ボタンと時刻ボタン→日付と時刻を記録する。

ボタンをもう一度押すと日時の表示は消えます。

お買い上げ時には日付・時刻の設定はされていません。日時を記録する前に日付・時刻を合わせてください。（10ページ）

次の撮影開始点を探す–エンドサーチ

最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

ご注意

- エンドサーチをしてからつなぎ撮りをすると、まれに場面がきれいにつながらないことがあります。
- 撮影後、カセットを取り出すとエンドサーチは働きません。

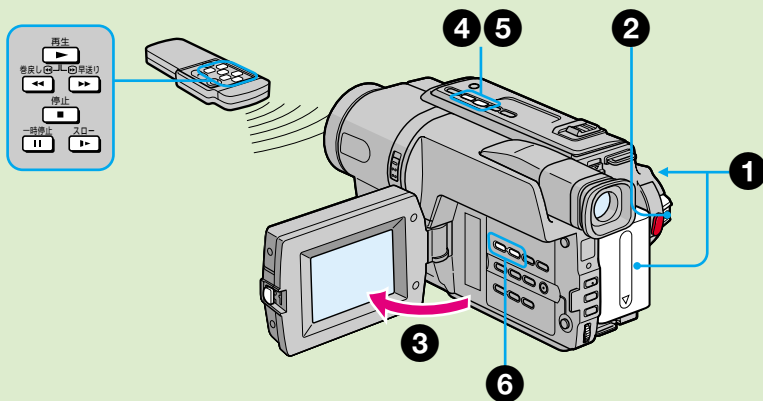
最後に撮影した終わりの部分を探す

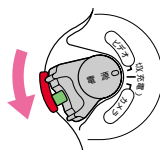
[撮影スタンバイ中] に

エンドサーチボタンを押す。

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生され、撮影スタンバイに戻る。
スピーカーで音も確認できる。

再生する

撮影したテープなどを液晶画面で見ます。液晶画面を閉じるとファインダーでも見られます。リモコンでも操作できます。

❶ バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

❷ 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ OPENボタンを押しながら、液晶画面を開ける。

❹ 巻戻しボタンを押す。

巻き戻しが始まる。

巻戻し

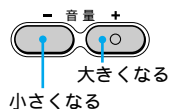
見る

次のページへつづく

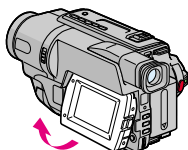
❺ 再生ボタンを押す。

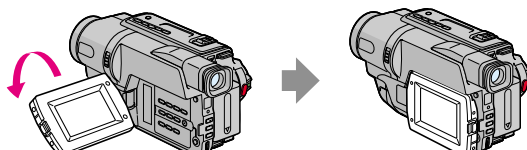
画像が映る。

❻ 音量ボタンを押して、音量を調節する。

液晶画面を閉じているときは、音が出ません。

再生を止める

■停止ボタンを押す。

液晶画面が見にくいときは
液晶画面の角度を調節します。

7°まで回転します。

液晶画面を外側に向けて本体に閉じる

180°回転させる。　閉じる。

画面表示を出したり消したりする

本体またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出る。消すときはもう一度押す。

いろいろな再生

電源スイッチが「ビデオ」のときに操作します。

静止画を見る

[再生中] に❚❚一時停止ボタンを押す。
►再生ボタンまたは❚❚一時停止ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中] に►►早送りボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[停止中] に◄◄巻戻しボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り／巻き戻しする（ピクチャーサーチ）

[再生中] に►►早送り／◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り／巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

[早送り中] または [巻き戻し中] に►►早送り／◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

[再生中] にリモコンの❚►スローボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）

[停止中] にエンドサーチボタンを押す。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

変速再生中は
音声は出ません。

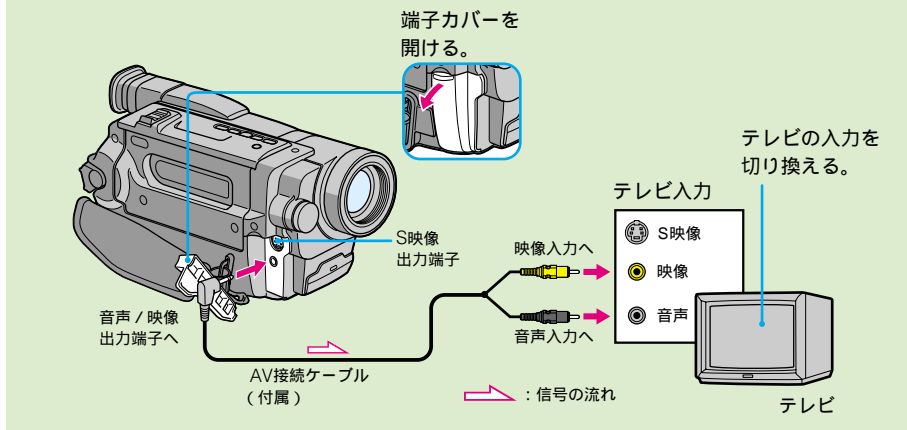
一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度►再生ボタンを押します。

逆方向再生について
画面の上下や、中央に横縞が入ることがありますが、故障ではありません。

スロー再生について
1分以上続くと自動的にふつうの再生に戻ります。

LPモードで録画したテープは
一時停止（静止画）、スロー再生、ピクチャーサーチすると、画面にノイズが出ることがあります。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は付属のACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします（9ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

別売りのS映像ケーブルを使うと
再生画像がより忠実に再現できます。テレビにS映像端子がついているときは、AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグ（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS映像出力端子とテレビのS映像端子を接続することをおすすめします。

テレビ画面にカウンターなどの表示を出すには
メニューで「画面表示」を「ビデオ出力／パネル」にし（54ページ）、画面表示ボタンを押します。消すときはもう一度画面表示ボタンを押します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がふたつある（ステレオ）テレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黒いプラグ（音声）をテレビにある音声入力の左音声側（白）につなぐ。

横長の画面にする－ワイドTVモード

ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影できます。ID-1対応テレビに接続した場合は自動的にテレビのワイドモードに切り換わります。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき
- ふつうのテレビで上下に黒い帯を入れて横長の画面にしたいとき

使いこなす－撮影－

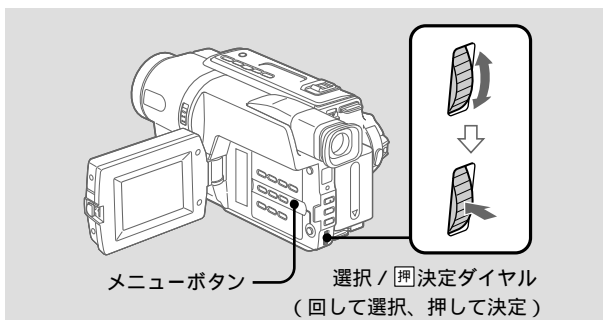
次のページへつづく

「ワイドフルモード」を「入」にすると
手ぶれ補正は働きません。手ぶれ補正が働いているときにメニューで「ワイドフルモード」を「入」にすると「〔手ぶれマーク〕」が点滅し、手ぶれ補正は働かなくなります。

ワイドTVモード中は
フェーダーのバウンドの操作はできません。

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。
ワイドTVモードを解除するときは、必ず「撮影スタンバイ」にしてから、メニューで「ワイドTV」を「切」にしてください。

ID-1方式とは
ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を通信するシステムです。

日付・時刻表示は
「ワイドフル」で記録すると、ワイドテレビで見る場合は横長の文字になります。

［撮影スタンバイ中］に
メニューで〔カメラセットアップアイコン〕の項目の「ワイドTV」を「ワイドシネマ」か「ワイドフル」にする。（50ページ）

ワイドTVモードを解除する

メニューで「ワイドTV」を「切」にする。

効果的な場面転換をする－フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して効果的な場面転換を演出できます。

フェードイン →

フェーダー

モザイクフェーダー

ストライプフェーダー

バウンド（フェードインのみ）

← フェードアウト

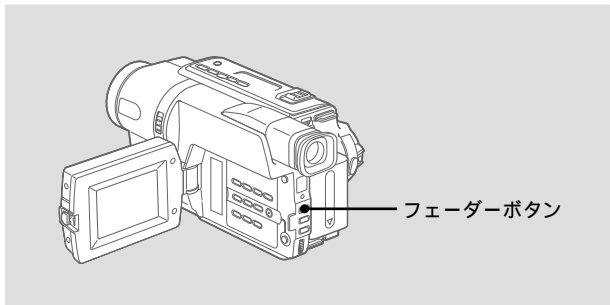
モノトーンフェーダー　フェードインは白黒からカラーに、フェードアウトはカラーから白黒になります。

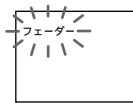
次のページへつづく

効果的な場面転換をする－フェーダー（つづき）

日付や時刻表示、タイトルはフェードしません
不要の場合は日付、時刻表示、タイトルを消してから行ってください。

バウンド動作中には以下の操作ができません
- フォーカス
- ズーム
- ピクチャーエフェクト

以下の操作中にはバウンドが表示されません
- メニューでデジタルズームの「40×」または「240×」を選択しているとき
- ワイドTVモード
- ピクチャーエフェクト
- プログラムAE

- フェードインは［撮影スタンバイ中］に
- フェードアウトは［撮影中］に

フェーダーボタンを押して希望のフェーダーモード表示を出す。

押すたびに変わります。
フェーダー→モザイクフェーダー→ストライプフェーダー→バウンド*→モノトーンフェーダー→（表示無し）

表示は前回使ったモードから表示されます。

* フェードインのみ

スタート/ストップボタンを押す。

フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

スタート／ストップボタンを押す前に、もう一度フェーダーボタンを押し、フェーダー表示を消す。

画像に特殊効果を加える–ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

パステル
→淡い色のパステル画のように

ネガアート
→写真のネガフィルムのように

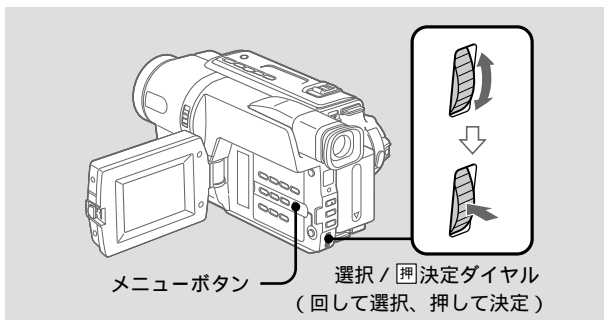
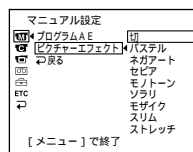
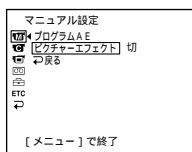
ソラリ
→明暗をはっきりさせたイラストのように

モザイク
→タイルを組み合わせたように

スリム
→縦に引き伸ばしたように

ストレッチ
→横に引き伸ばしたように

セピア→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

電源スイッチを「切（充電）」にすると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ 電源スイッチを「カメラ」にしたとき
メニューで Ⓜ の項目の「ピクチャーエフェクト」を選び、押して決定する。（50ページ）

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して、希望のピクチャーエフェクトを選ぶ。**

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

撮影状況に合わせて撮る－プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポットライト
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソフトポートレート
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。

スポーツレッスン
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。

ビーチ&スキー
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

サンセット&ムーン
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。

フウケイ
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

ご注意

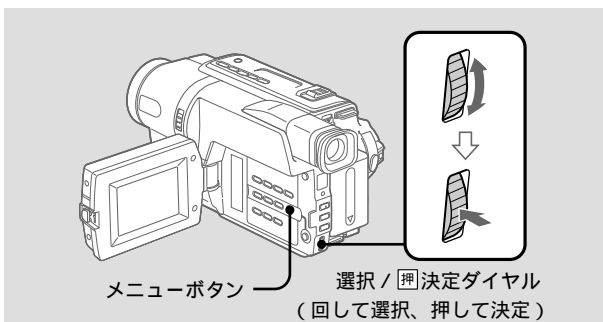
- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  ースポットライト
  ースポーツレッスン
  ービーチ＆スキー
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  ーサンセット＆ムーン
  ー風景
- プログラムAE中はフェーダーのバウンドの操作はできません。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしているときプログラムAEモードは使えません。（表示が点滅します。）

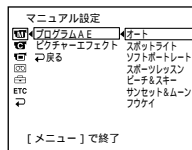
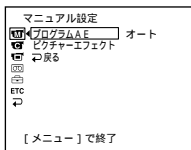
プログラムAEモードで撮影中でも

明るさを調節できます。

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると

次のモードでは画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。

– ソフトポートレート
– スポーツレッスン

❶ 電源スイッチを「カメラ」にしたとき

メニューでMの項目の「プログラムAE」を選び、押して決定する。（50ページ）

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して希望のプログラムAEモードを選ぶ。**

プログラムAEを解除する

メニューの「プログラムAE」で「オート」を選ぶ。

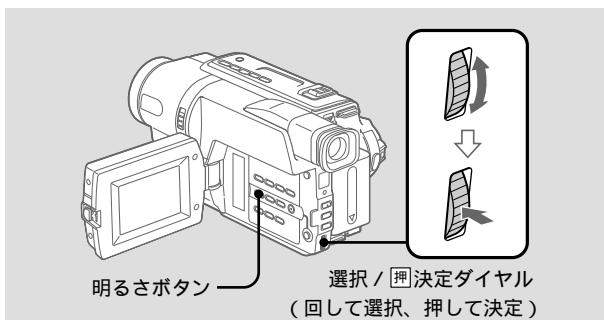
手動で画像の明るさを調節する

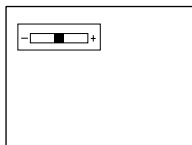
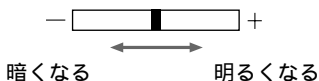
画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。通常は、自動的に明るさの調節が行われています。

- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき
- 夜景を撮りたいとき

ご注意

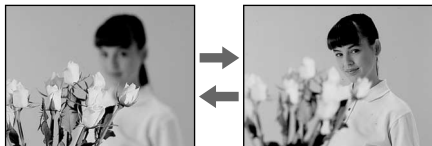
明るさ調節しているときは逆光補正は働きません。

以下のとき、明るさ調節は自動に戻ります
- プログラムAEのモードを変える。
- NIGHTSHOTを「入」にする。

❶ 電源スイッチを「カメラ」にしたとき
明るさボタンを押す。

明るさ表示が出る。

❷ **選択／押決定ダイヤルを回し、明るさを調節する。**

自動調節に戻す

明るさボタンを押し、表示を消す。

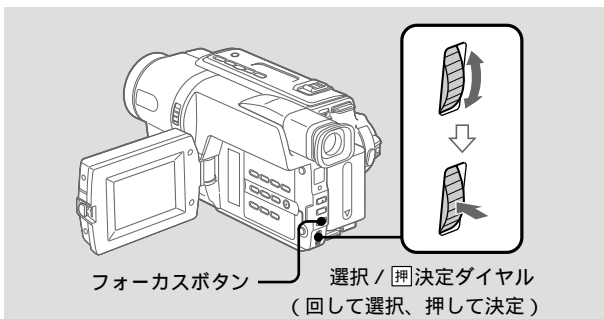
手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。通常は自動的にピントの調節が行われています。

- 自動ではピントが合いにくいとき
  – 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
  – 被写体が横縞だけのもののとき
  – 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき
- 三脚を使い、静止した被写体をピントを固定して撮るとき

正確にピントを合わせるには
ズームをT側（望遠）でピントを合わせたあと、なるべくW側（広角）で撮るようにズームを調節するとピントが合いやすくなります。

近づいて大きく撮るとき
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。

- 無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。

1 電源スイッチを「カメラ」にしたとき
フォーカスボタンを押す。
手動ピント合わせ表示が出る。

2 **選択／押決定ダイヤルを回し、ピントの合う位置を調節する。**

自動調節に戻す

フォーカスボタンを押し、表示を消す。

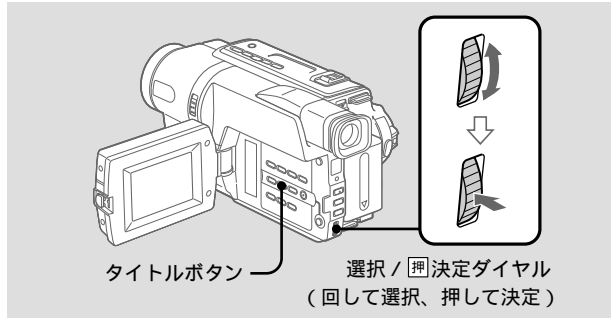
タイトルを入れる

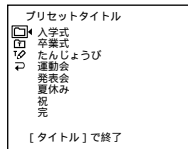
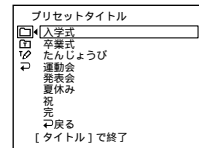
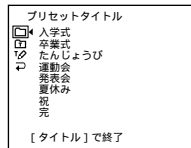
撮影中にタイトルを入れることができます。本機にあらかじめ登録してある8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類（36ページ）の中から選んで、タイトルを入れることができます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。

ご注意

タイトル文字のサイズや位置によっては、日付・時刻表示の両方、または片方が表示されないことがあります。

タイトルを入れて撮影中に
メニューボタンを押してメニュー画面を表示している間はタイトルが記録されません。

オリジナルタイトルを入れるときは
手順❷で「🄣」を選びます。

❶ 電源スイッチを「カメラ」にしたとき
タイトルボタンを押す。

タイトルメニューが表示される。

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して「□」を選び、押して決定する。**

設定表示と表示順

- 「色設定」
  しろ←→きいろ←→むらさき←→あか←→みずいろ←→みどり←→あお
- 「サイズ設定」
  ちいさい←→おおきい
  12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。
- 「位置設定」
  1←→2←→3←→4←→5←→6←→7←→8←→9
  大きい数字になるほど位置が下になります。
  サイズ設定で「おおきい」を選んだときは、9の位置は選べません。
  ワイドシネマモード中に、サイズ設定で「おおきい」を選んだときは、8または9の位置は選べません。

タイトルの選択／設定操作をしているときは

画面に出ているタイトルは記録できません。

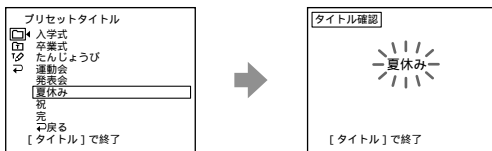
撮影の途中でタイトルを入れるときは

おしらせブザーは鳴りません。

再生中にも

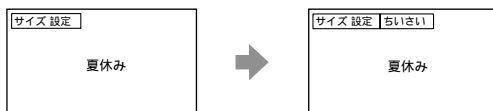
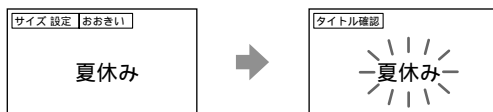
タイトルを入れられますが、画面に出ているタイトルは記録できません。
本機と録画機をAV接続ケーブル（付属）で接続し、ダビングするときには画面に出ているタイトルを記録できます。

❸ 選択／[押]決定ダイヤルを回して入れたいタイトルを選び、押して決定する。

タイトルが点滅する。

❹ 色、サイズ、位置を選択する。

表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順❺にすすむ。

1 選択／[押]決定ダイヤルを回して「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定する。

選べる項目が出る。

2 選択／[押]決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。

3 必要なだけ1、2を繰り返す。

❺ 選択／[押]決定ダイヤルを押して、タイトルを表示させる。

❻ 撮影を始める。

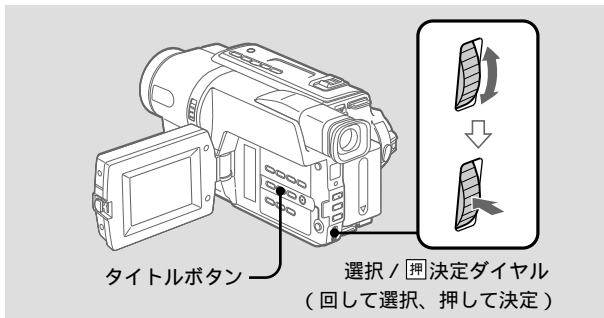
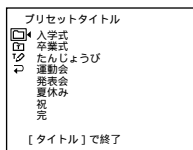
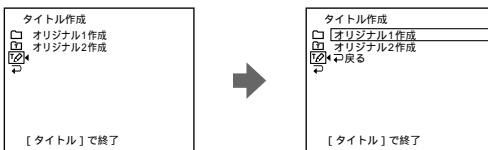
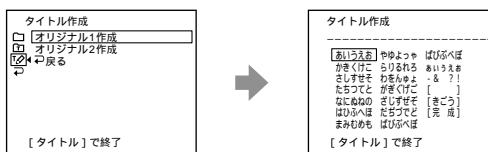
❼ タイトルを消したい場面でタイトルボタンをもう一度押す。

撮影の途中でタイトルを入れるとき

撮影中にタイトルボタンを押し、手順❷から❺を行う。手順❺で選択／[押]決定ダイヤルを押したとき、タイトルが入る。

オリジナルタイトルを作る

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類
まで本機に記憶できます。

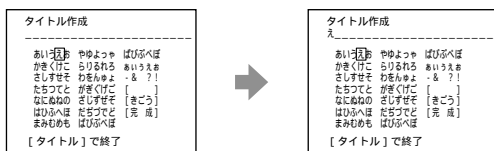
撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます
作成中のタイトルは残っています。一度電源スイッチを「切（充電）」にして、手順❶からやり直してください。
5分以上かかりそうなときは電源スイッチを「ビデオ」にしておくかカセットを取り出しておけば電源は切れません。

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にしたとき
タイトルボタンを押す。

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して「T✎」を選び、押して決定する。**

❸ **選択／押決定ダイヤルを回して「オリジナル1作成」または「オリジナル2作成」を選び、押して決定する。**

[きごう] を選ぶと
アルファベットや数字などが選べる画面が出ます。[かな] を選ぶと、元の画面に戻ります。

漢字変換機能はありません
[きごう] にある漢字以外をタイトルに使うことはできません。

文字を消すとき
[←] を選ぶと、一番後ろの文字が消えます。

空白を入れたいときは
[– ＆ ？!] の文字列の空白部分を選んでください。

❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望の文字列を選び、押して決定する。

❺ 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望の文字を選び、押して決定する。

❻ 手順❹、❺を繰り返して希望のタイトルを作る。

❼ 選択／押 決定ダイヤルを回して、[完成] を選び、押して決定する。

タイトルが記憶される。

❽ タイトルボタンを押して、タイトル画面を消す。

作成したタイトルを変更する

手順❸で、変更したいオリジナルタイトルを選び、選択／押 決定ダイヤルを押す。[←] を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

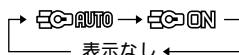
内蔵ビデオライトを使う

撮影状況に応じて、内蔵ビデオライトをお使いください。

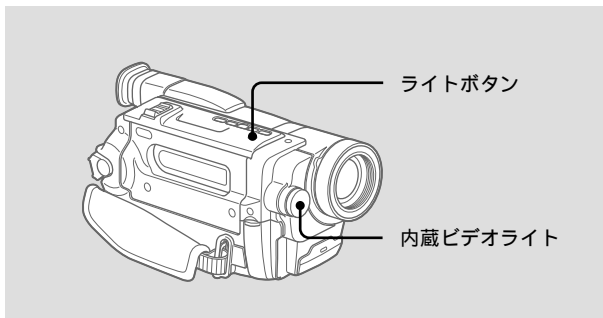
被写体との距離を約1.5mとってください。

ライトボタンを押すと

表示は次の順で変わります。

→ AUTO → ON → 表示なし

ご注意

- 以下のとき、内蔵ビデオライトは自動で消灯します。
  - AUTO モードで5分以上点灯したままのとき。
  - テープが入っていない、またはテープが終わっている状態で、5分以上点灯したままのとき。

  再びライトを点灯するには、もう一度ライトボタンを押してください。
- 内蔵ビデオライトが点灯中は、バッテリーが早く消耗します。お使いならないときはライトボタンを押し、表示を消してライトを切ってください。
- 本機をお使いにならないときはライトボタンを押し、表示を消して内蔵ビデオライトを切り、バッテリーを取りはずしてください。誤って内蔵ビデオライトが点灯することがあります。
- AUTOモードで撮影中フリッカー（画面が明るくなったりする現象）が起こることがあります。このような場合にはライトボタンを押して、通常のONモードにしてください。

電源スイッチを「カメラ」にしたとき

ライトボタンを押して ON 表示を出す。

内蔵ビデオライトが点灯する。

電源スイッチを一度「切（充電）」にすると、内蔵ビデオライトも消え、再び電源スイッチを「カメラ」にしてもライトは点灯しません。ライトを点灯するには、[撮影スタンバイ中]、[撮影中] にもう一度ライトボタンを押してください。

内蔵ビデオライトを消すには

ライトボタンを押し、表示を消す。

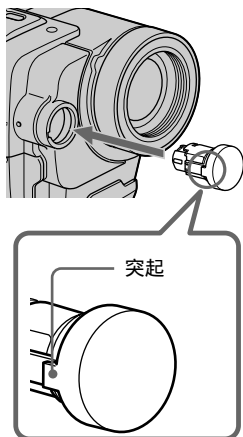
自動で内蔵ビデオライトを点灯させる

ライトボタンを押して AUTO 表示を出す。

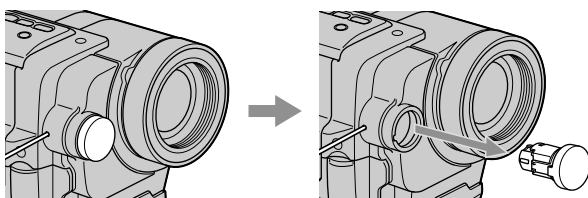
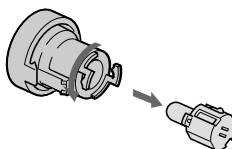
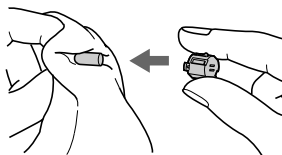
周囲の明るさによって内蔵ビデオライトが自動で入／切します。

ご注意

- [EC AUTO]モードにしてプログラムAEや逆光補正を行っているときは、内蔵ビデオライトが自動で点灯したり消灯したりします。
- カセットを出し入れするときに、内蔵ビデオライトが消えることがあります。
- エンドサーチが働いているときは、内蔵ビデオライトは点灯しません。
- 別売りのコンバージョンレンズをご使用になる場合は、内蔵ビデオライトの光をコンバージョンレンズがさえぎってしまうため、被写体にうまく光が当たらないことがあります。
- ランプが指紋などで汚れないように、取り扱いの際には乾いた布などを使用してください。万一、ランプが汚れた場合は、汚れを完全に拭きとってください。

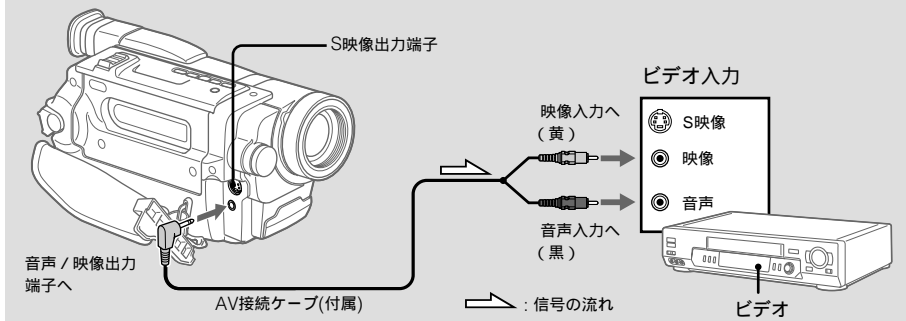
内蔵ビデオライトを取り付ける際には、内蔵ビデオライトの突起を取り付け部分の溝に合わせてまっすぐ差し込んでください。

ランプを交換するには

交換用ランプは別売りのソニー製ハロゲンランプXB-3Dをお使いください。本機に装着されているランプは市販されていません。ソニー製ハロゲンランプXB-3D をお買い求めください。

❶ 内蔵ビデオライトの側面にある穴を針金のようなもので押し、内蔵ビデオライトを取りはずす。

❷ ランプホルダーを矢印の方向にまわしランプを取りはずす。

❸ ランプを乾いた布などで持ち交換する。

❹ ランプを時計方向にまわしてランプホルダーに取り付け、内蔵ビデオライトを取り付ける。

他のビデオへダビングする

付属のAV接続ケーブルでつなぐ

本機を再生機として使い、接続したビデオで録画、編集できます。

録画側は以下のどの方式のビデオでも使えます。

8, Hi8, VHS, VHS C, S VHS, S VHS C, β, ED Beta, Mini DV, DV, Digital8, MICRO MV

録画機の音声入力がふたつ（ステレオ）のとき
AV接続ケーブル（付属）の黒いプラグ（音声）を録画機にある音声入力の左音声側（白）につないでください。

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより忠実に再現できます。ビデオにS映像端子がついているときは、AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグ（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS映像出力端子とビデオのS映像端子を接続することをおすすめします。

- メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）
- 画面表示ボタンを押して画面表示を消してください。消さないでダビングするとテープに記録されます。

❶ カセットを準備する。

本機　：撮影ずみのカセットを入れる。
録画機：録画用カセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

ビデオ入力端子にAV接続ケーブルをつなぐ。
入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。
詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画をはじめる。

詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら
録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

ダビングによる画質の劣化を防ぐには
あらかじめメニューで「エディット」を「入」にして録画する。

簡単な操作でダビングする
ーイージーダビング

録画機を操作せずに別のテープに簡単にダビングできます。
本機にあらかじめ登録してある8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類（36ページ）の中から選んでタイトルを入れることができます。また、タイトルの色やサイズ、背景色も選べます。

イージーダビングは、次の手順で行います。

手順1： 録画機をつなぐ（41ページ）
手順2： 録画機を操作するための設定をする（42ページ）
手順3： タイトルを選ぶ（45ページ）
手順4： ダビングモードを選ぶ（46ページ）
手順5： イージーダビングを実行する（47ページ）

上記の設定を一度行った録画機を使用する場合は手順2は不要です。また、タイトルを入れる必要がなければ手順3は不要です。

録画側は以下のどの方式のビデオでも使えます。
8, Hi8, VHS, VHSC, SVHS, SVHSC, β, ED Beta, Mini DV, DV, D8, MICROMV

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより忠実に再現できます。ビデオにS映像端子がついているときは、AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグ（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS映像出力端子とビデオのS映像端子を接続することをおすすめします。

手順1 録画機をつなぐ

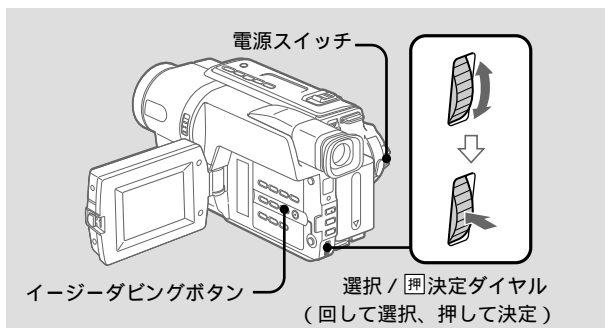
40ページの図のように接続します。

次のページへつづく

録画一時停止解除モードについて
お使いの録画機で録画一時停止を解除し、録画を始めるときに押すボタンを下記よりお選びください。（ボタンの種類は録画機により異なります。）それぞれのボタンに合った録画一時停止解除モードを設定してください。

録画機のボタン	録画一時停止解除モード
❚❚（一時停止）	「一時停止」
●（録画）	「録画」
►（再生）	「再生」

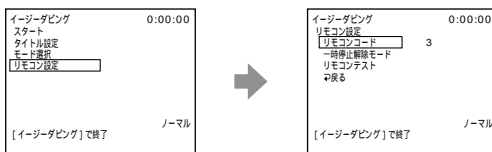
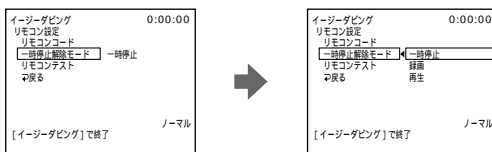
手順2 録画機を操作するための設定をする

本機の赤外線発光部から録画機のリモコン受光部に録画機を操作するための信号を送ります。
正しく信号を送るために、以下の設定（❶〜❹）を行ってください。

❶ 録画機の録画一時停止解除モードを設定する。

1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 録画機のスイッチを入れ、入力切り換えを選ぶ。
録画機がビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 イージーダビングボタンを押して、イージーダビング画面を出す。

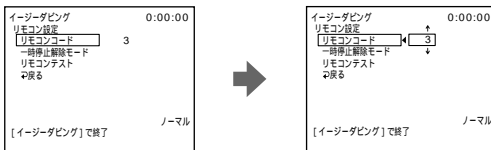
4 選択／押決定ダイヤルを回して、「リモコン設定」を選び、押して決定する。

5 選択／押決定ダイヤルを回して、「一時停止解除モード」を選び、押して決定する。

6 選択／押決定ダイヤルを回して、録画機の録画一時停止解除モードを選び、押して決定する。

リモコンコードについて
本機には、下記のリモコンコードが記憶されています。お使いの機器のリモコンコードを設定してください。お買い上げ時、本機は「3」に設定されています。

メーカー	リモコンコード
ソニー	1、2、3、4、5、6
アイワ	47、54、55、57、60、64
キヤノン	97
コルディナ	34
富士通	34
フナイ	61、80
ゴールドスター	47
日立	43、47、56、75
ビクター	12、13、14、21
マルマン	26
三菱	22、27、28、29
ＮＥＣ	35、65、66、67
オリオン	69、72
松下	16、18、19、78、79、96
フィリップス	83
パイオニア	31
三洋	36、38、46
シャープ	88、89、90、98
東芝	39、40、68
ユピテル	47

リモコンコードが対応していない機種は、イージーダビングはできません。

❷ リモコンコードを設定する。

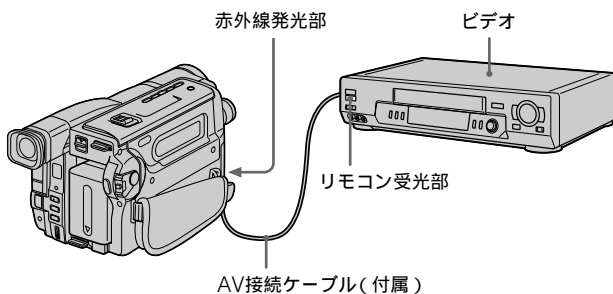
1　選択／押決定ダイヤルを回して、「リモコンコード」を選び、押して決定する。

2　選択／押決定ダイヤルを回して、録画機のリモコンコード（番号）を選び、押して決定する。

「リモコンコードについて」を参照する。

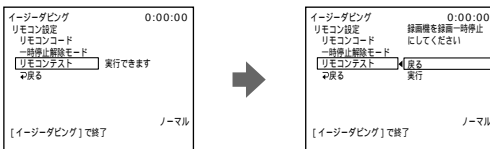
❸ 本機の赤外線発光部と録画機のリモコン受光部を向かい合わせる。

機器の距離は約30cm離し、間に障害物などがない状態にする。

編集する―ダビングする―

次のページへつづく

❹ 録画機が正しく動作するか確認する。

1 録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。

2 選択／押決定ダイヤルを回して、「リモコンテスト」を選び、押して決定する。

3 選択／押決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

録画機が録画を開始すれば、正しく設定されている。

終了すると本機の表示は「完了」に変わる。

録画機が正しく動作しないときは

- 「リモコンコードについて」のコードをご覧の上、「リモコンコード」または「録画一時停止解除モード」を設定し直す。
- 本機と録画機を約30cmまで離す。
- 録画機の取扱説明書をご確認ください。

ご注意

選んだタイトルは録画機側のカセットにのみ記録されます。

設定表示と表示順

- 「色設定」
  しろ←→きいろ←→むらさき←→あか←→みずいろ←→みどり←→あお
- 「サイズ設定」
  ちいさい←→おおきい
- 「背景色設定」
  フェード←→しろ←→きいろ←→むらさき←→あか←→みずいろ←→みどり←→あお←→くろ

手順3 タイトルを選ぶ

タイトルの色やサイズ、背景色も選べます。
オリジナル1とオリジナル2は「オリジナルタイトルを作る」（36ページ）の手順で本機に登録できる、オリジナルタイトルです。

❶ イージーダビングボタンを押して、イージーダビング画面を出す。

❷ 選択／押決定ダイヤルを回して「タイトル設定」を選び、押して決定する。

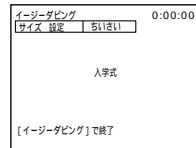
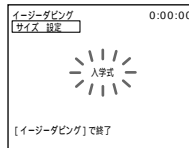
❸ 選択／押決定ダイヤルを回して入れたいタイトルを選び、押して決定する。

タイトルが点滅する。

❹ 色、サイズ、背景色を選択する。

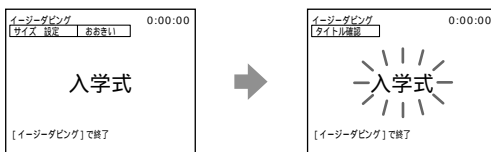
表示されているタイトルの色、サイズ、背景色でよいときは**手順5 イージーダビングを実行する**にすすむ。

1 **選択／押決定ダイヤルを回して「色設定」または「サイズ設定」、「背景色設定」を選び、押して決定する。**

選べる項目が出る。

次のページへつづく

2　**選択／押決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。**

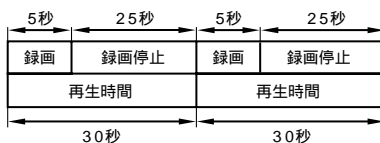
3　**必要なだけ1、2を繰り返す。**

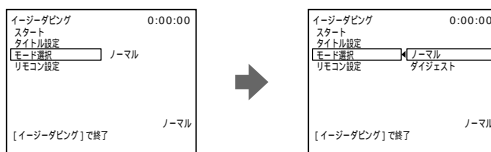
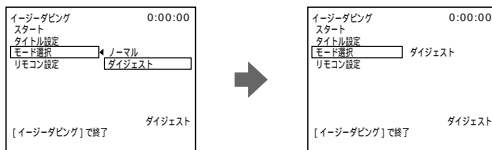
---

❺ **選択／押決定ダイヤルを押して、タイトルを表示させる。**

手順4 ダビングモードを選ぶ

通常の録画（ノーマル）か一定時間おきに撮るインターバル録画（ダイジェスト）のどちらかを選んでダビングができます。

ノーマル　　：通常のダビングを行います。
ダイジェスト：自動的に5秒間の録画と25秒間の録画停止を交互に行いダビングします。

---

❶ **選択／押決定ダイヤルを回して、「モード選択」を選び、押して決定する。**

---

❷ 選択／[押]決定ダイヤルを回して、「ノーマル」か「ダイジェスト」を選び、押して決定する。

ご注意

手順3で背景色を「フェード」に設定した場合、接続する録画機によっては画像が乱れることがあります。

以下の場合には、録画機で録画できません。

- テープが終わりになっている。
- テープが誤消去防止状態になっている。
- リモコンコードが合っていない。
- 録画一時停止解除モードが間違っている。

「スタート」が選べないときは、「実行できません」と表示され、ダビングできません。

手順5 イージーダビングを実行する

機器の接続と録画機が録画一時停止状態であることを確認する。また、録画側がビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。
本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❶ 選択／[押]決定ダイヤルを回して「スタート」を選び、押して決定する。

❷ 選択／[押]決定ダイヤルを回して「実行」を選び、押して決定する。

ダビングが終わると、本機と録画機は自動的に停止する。

イージーダビングを中止する。

本機の■停止ボタンを押す。

イージーダビングを終了する。

ダビングが終了すると本機は停止し、画面はイージーダビング画面に戻る。
イージーダビングボタンを押し、表示を消す。

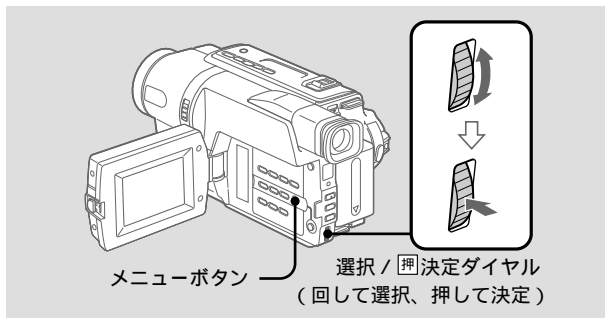
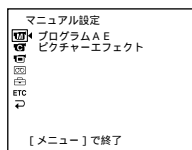
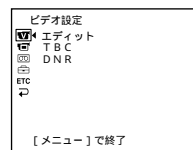
メニューでお買い上げ時の設定を変える

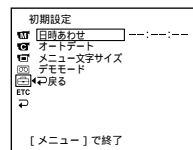
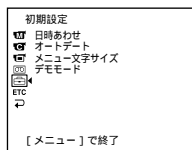
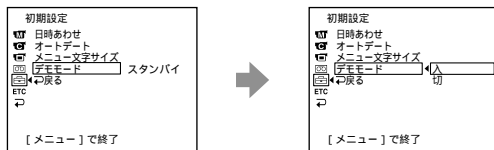
画面上のメニュー項目を、選択／押決定ダイヤルで選択し、本機のお買い上げ時の設定を一部変更することができます。

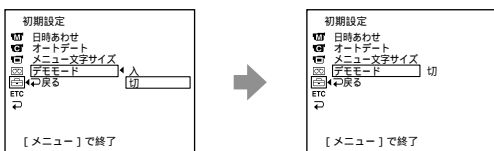
次の順で選択します。

メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

メニュー項目は
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

- M マニュアル設定
- C カメラ設定
- V ビデオ設定
- パネル／VF設定
- テープ設定
- 初期設定
- ETC その他

❶ 電源スイッチが［カメラ］または［ビデオ］のとき
メニューボタンを押す。

「カメラ」のとき

「ビデオ」のとき

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して希望のアイコンを選び、押して決定する。**

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して設定を切り換え、押して決定する。

❺ 必要なだけ手順❷〜❹を繰り返す。

手順❷に戻るには、選択／押決定ダイヤルを回して「戻る」を選び、ダイヤルを押す。

詳しくは「各設定項目の説明」（50ページ）をご覧ください。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

設定を変える

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、その時使える項目のみ表示されます。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
M（マニュアル設定）			
プログラムAE	——	被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行う。（30ページ）	「カメラ」
ピクチャーエフェクト	——	画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。（29ページ）	「カメラ」
C（カメラ設定）			
デジタルズーム	●切	デジタルズームが働かない。20倍までのズームが働く。（16ページ）	「カメラ」
	40×	ズームが20倍を越えると40倍までデジタルズームが働く。（16ページ）	
	240×	ズームが20倍を越えると240倍までデジタルズームが働く。（16ページ）	
ワイドTV	●切	ー	「カメラ」
	ワイド シネマ	ワイドシネマモードで撮影する。（25ページ）	
	ワイド フル	ワイドフルモードで撮影する。（25ページ）	
手ぶれ補正	●入	手ぶれ補正が働く。	「カメラ」
	切	手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するときに自然な画像になる。	
N.S.**ライト**	●入	NIGHTSHOTライトを使用する。（19ページ）	「カメラ」
	切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	

手ぶれ補正は

- 手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないときがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。

手ぶれ補正を解除すると

本機を左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなど、不必要な補正を防ぎます。このとき画面に手ぶれ補正「切」表示が出ます。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
(ビデオ設定)			
エディット	●切	ー	「ビデオ」
	入	ダビング・編集で本機を再生機として使うときに、画質劣化を低減する。	
TBC	●入	ジッター（再生時の画像の横ユレ）を低減する。	「ビデオ」
	切	画像の乱れ補正が働かない。 ダビング等を繰り返したり、ゲーム機の信号などを記録したテープを再生するとき	
TBCとは Time Base Corrector（タイム ベース コレクター）の略です。			
DNR	●入	画像の色ノイズを目立たなくする。	「ビデオ」
	切	動きの激しい画像のとき残像が目立たなくなる。	
DNRとは Digital Noise Reduction（デジタル ノイズ リダクション）の略です。			
(パネル/VF設定)			
パネル明るさ	——	液晶画面の明るさを選択/押決定ダイヤルを回し、バーで調節する。 暗くなる ▭ 明るくなる	「ビデオ」 「カメラ」
パネルバックライト	●明るさノーマル	液晶画面のバックライトを標準の明るさにする。	「ビデオ」 「カメラ」
	明るい	液晶画面のバックライトをより明るくする。	
パネル色のこさ	——	液晶画面の色のこさを選択/押決定ダイヤルを回し、バーで調節する。 うすくなる ▭ こくなる	「ビデオ」 「カメラ」
VF**バックライト**	●明るさノーマル	ファインダーのバックライトを標準の明るさにする。	「ビデオ」 「カメラ」
	明るい	ファインダーのバックライトをより明るくする。	

電源をはずして5分以上たつと
「エディット」はお買い上げ時の設定に戻ります。
その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

「パネルバックライト」、「VFバックライト」は
- 「明るい」を選ぶと撮影時のバッテリー使用時間が約1割短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは自動的に「明るい」になります。

設定を変える

次のページへつづく

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
（テープ設定）			
録画モード	●SP	SP（標準）モードで録画する。	「カメラ」
	LP	SPモードの2倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。	
ORC設定	——	テープに最適な状態で録画設定する。スタート／ストップボタンを押すと設定がはじまる。約10秒で撮影スタンバイに戻る。 ORCとはOptimizing（オプティマイジング） the（ザ） Recording（レコーディング） Condition（コンディション）の略です。	「カメラ」
テープ残量表示	●オート	以下のときにテープ残量を表示する。 • 電源／テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。 • ►再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。 • 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。	「ビデオ」 「カメラ」
	入	テープ残量を常に表示する。	

LPモードについて

- 本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。他のビデオ機器で再生すると、映像や音声にノイズが出ることがあります。
- テープの途中でSP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れることがあります。
- 他のビデオ機器のLPモードで録画したテープを本機で再生する場合も映像や音声にノイズが出ることがあります。
- LPモードで録画するとスタンダード8ミリ方式で録画されます。

ORC設定は

- カセットを取り出すと設定が解除されます。
  カセットを入れるたびに設定し直してください。
- カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープにはORC設定はできません。
- 録画済みのテープにORC設定をすると約0.1秒間の無記録部分ができます。ただし、その部分から続けて撮影すれば無記録部分はなくなります。
- ORC設定を確認するときはメニュー画面を出して、「ORC設定」を選びます。
  「完了」表示が出たらORCは設定済です。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
(初期設定)			
日時あわせ	——	日付・時刻を合わせる。（10ページ）	「カメラ」
オートデート	●入	1日1回撮影のはじめ10秒間、オートデート機能が働く。	「カメラ」
	切	オートデート機能を解除する。	
メニュー文字サイズ	●ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。	「ビデオ」「カメラ」
	2×	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。	
デモモード	●入	本機の機能を一覧できる。	「カメラ」
	切	デモンストレーションを表示しない。	

デモモードについて

- カセットが入った状態では操作できません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これはカセットを入れずに電源スイッチを「カメラ」にすると、10分後にデモンストレーションが始まる設定です。
  カセットを入れるか、電源スイッチを「カメラ」以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。再び「スタンバイ」にするにはメニューで「入」にしたまま電源スイッチをいったん「切（充電）」にし、「カメラ」に戻します。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、“ NIGHTSHOT ”表示が現れ、デモンストレーションは始まりません。また、メニューでも「デモモード」を選ぶことはできません。

メニューで設定を変える（つづき）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
ETC（その他）			
時差補正	——	時差の設定をする。 選択／押決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。	「カメラ」
おしらせブザー	●メロディー	撮影スタート／ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。	「ビデオ」 「カメラ」
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。	
	切	メロディー、ブザー音が鳴らない。	
リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	「ビデオ」 「カメラ」
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。	
画面表示	●パネル	カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	「ビデオ」 「カメラ」
	ビデオ出力／パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	「カメラ」
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。	

電源をはずして5分以上たつと
「リモコン」はお買い上げ時の設定に戻ります。
その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

被写体に接近して撮るとき
「録画ランプ」が「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合は、「録画ランプ」を「切」にすることをおすすめします。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

ファインダーや液晶画面に「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。59ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。	•電源スイッチが「カメラ」になっていない。	•「カメラ」にする。	13
	•テープが終わりになっている。	•巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	12、23
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。または新しいカセットを入れる。	12
	•テープがヘッドドラムに貼りついている（結露）。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	65
電源が途中で切れる。	•撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	•電源スイッチを「切（充電）」にしてから、もう一度「カメラ」にする。	14
	•バッテリーが消耗している。	•充電されたバッテリーを取り付ける。	6、7
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	17
手ぶれ補正が働かない。	•メニューの「手ぶれ補正」が「切」になっている。	•メニューで「入」にする。	50
	•メニューの「ワイドTV」が「ワイドフルモード」になっている。	•メニューで「切」にする。	50
オートフォーカスが働かない。	•手動ピント合わせになっている。	•自動調節に戻す。	33
	•オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	•手動でピントを合わせて撮影する。	33
ファインダー内に⊗が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	65
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	14

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	ー	ー
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	ー	ー
液晶画面やファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	53
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTが「入」になっている。	「切」にする。	19
画面が白すぎて画像が見えない。	•明るいところでNIGHTSHOTを「入」にしている。 •逆光補正が働いている。	•「切」にする。 •解除する。	19 18
テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯が出る。	ー	メニューの「手ぶれ補正」を「切」にする。	50

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが働かない。	電源スイッチが「ビデオ」になっていない。	「ビデオ」にする。	21
ビデオ再生ボタン►が働かない。	テープが終わりになっている。	テープを巻き戻す。	23
画像がぼけたり、映らなかったりする。	•テレビのビデオチャンネルが切り換わっていない。 •メニューの「エディット」が「入」になっている。 •ビデオヘッドが汚れている。	•切り換える。 •「切」にする。 •別売りのクリーニングカセットできれいにする。	24 51 65
音声が小さい。または聞こえない。	音量を最小にしている。	音量を大きくする。	22

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを「ビデオ」／「カメラ」にしても動作しない。	●バッテリーが消耗している／消耗が近い／取り付けられていない。 ●ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	●充電されたバッテリーを取り付ける。 ●コンセントに差し込む。	6、7 9
エンドサーチが働かない。	●撮影後にカセットを取り出した。 ●カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、一度も撮影していない。	ー ー	20 20
バッテリーの消耗が早い。	●周囲の温度が極端に低い。 ●充電が不充分。 ●バッテリーそのものの寿命。	ー ●満充電する。 ●新しいバッテリーに交換する。	ー 7 6
バッテリー残量が正しくない。	●温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 ●バッテリーそのものの寿命。 ●バッテリーが消耗している。 ●残量表示にズレが生じた。	ー ●新しいバッテリーに交換する。 ●充電されたバッテリーを取り付ける。 ●満充電する。	ー 6 6、7 7
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。	残量表示にズレが生じた。	満充電すると残量が正しく表示される。	7
カセットが取り出せない。	●電源（バッテリーやACパワーアダプター）がはずれている。 ●バッテリーが消耗している。	●電源をきちんと接続する。 ●充電されたバッテリーを取り付ける。	6、9 6、7
結露表示や⏏が点滅し、カセット取出しボタン以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	65
テープ残量表示が出ない。	メニューの「テープ残量表示」が「オート」になっている。	常にテープ残量を出したいときは「テープ残量表示」を「入」にする。	52

故障かな？と思ったら（つづき）

その他

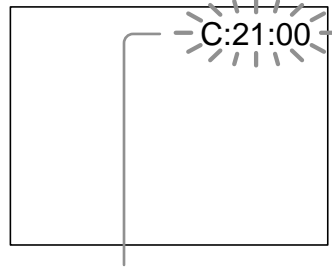
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
イージーダビングが働かない。	●録画機側の入力切り換えができていない。 ●リモコンコード、または一時停止解除モードの設定が間違っている。	●接続を確認して、録画機側の入力切り換えスイッチを設定しなおす。 ●リモコンコードまたは一時停止解除モードを設定し直し、リモコンテストを行って正しく設定されているか確認する。	41 42
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	●メニューの「リモコン」を「切」にしている。 ●リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。 ●リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。 ●乾電池そのものの寿命。	●「入」にする。 ●障害物を取り除く。 ●⊕極と⊖極を正しく入れる。 ●新しい乾電池に交換する。	54 ー 73 73
日付または時刻表示が「--:--:--」になる。	—	日付、時刻を合わせ直す。	10
おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。	●結露している。 ●本機に異常が発生している。	●カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。 ●カセットを入れ直し、再度操作し直す。	65 ー
電源が入っているのに操作できない。	—	バッテリーまたはACパワーアダプターのケーブルを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACパワーアダプターのケーブルを取り付け、電源を入れる。それでも操作できないときは、EJECT（カセット取出し）ボタン横のRESET（リセット）ボタンを先のとがったもので押す。（この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。）	6、72
バッテリー充電中、表示窓に何も表示が出ない、または表示窓のバッテリーマークが点滅する。	●ACパワーアダプターが正しく取り付けられていない。 ●バッテリーが正しく取り付けられていない。 ●バッテリーが故障している。	●電源をきちんと接続する。 ●正しく取り付ける。 ●テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。	6、9 6 ー
本体に取り付けたバッテリーを充電できない。	本機の電源スイッチが「切（充電）」になっていない。	電源スイッチを「切（充電）」にする。	7

自己診断表示–アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、液晶画面、ファインダーまたは表示窓にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面、ファインダーまたは表示窓

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせしていただく状態

表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:□□	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーをご使用ください。	63
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	65
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	65
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	•カセットを入れ直し、再度操作し直す。 •電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。	– –
E:20:□□ E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	–

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面またはファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、（　）内のページにあります。

警告表示

ヘッド汚れの警告
遅い点滅
- ヘッドが汚れている。クリーニングカセットで掃除する必要がある（65）

バッテリー消費時の警告
遅い点滅
- バッテリー残量が少ない

使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5分から10分でも警告表示が点滅することがあります。

速い点滅
- バッテリー残量がない（7）
- バッテリーそのものの寿命

テープ関連の警告
遅い点滅
- テープ残量が5分を切った
- テープが入っていない*1)
- テープが誤消去防止状態になっている*1)（12）

速い点滅
- テープが終わっている*1)

自己診断（59）

結露の警告*1)
速い点滅
- テープが結露している
  テープを取り出し、電源をはずしてカセット入れを開けたまま約1時間放置する（65）

テープを取り出す必要がある警告*1)
遅い点滅
- テープが誤消去防止状態になっている（12）

速い点滅
- 結露している（65）
- テープが終わっている
- 自己診断表示が出ている（59）

テープまたはバッテリー関連の警告*2)
遅い点滅
- バッテリー残量が少ない
- テープ残量が5分を切った

速い点滅
- バッテリー残量が少ない
- テープが終わっている*1)

*1) 警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。
*2) ファインダーにのみ出る表示です。

お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください（6ページ）
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（6ページ）
- “インフォリチウム”バッテリーをつかってください（63ページ）
- カセットを入れてください*
- テープが終わっています*
- メニューで日付　時刻をあわせてください（10ページ）
- ⊗ヘッドが汚れています／クリーニングカセットをつかってください（65ページ）
- 結露しています　カセットを取り出してください（65ページ）
- カメラ録画ボタンをおしてください（13ページ）
- ORC（52ページ）

* 警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

故障かな？と思ったら

ビデオカセットについて

記録・再生するときのテープの種類

本機ではHi8（ハイエイト）テープ Hi8とスタンダード8ミリテープ 8が使えます。

Hi8（ハイエイト）テープ：
　自動でHi8方式の録画→再生
スタンダード8ミリテープ：
　自動でスタンダード8ミリ方式の録画→再生

ただしHi8テープを使ってLPモードで録画した場合、スタンダード8ミリ方式で録画されます。
他のカメラで撮ったテープを本機で再生するときは録画方式を自動で判別します。

Hi8方式：従来のスタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。
Hi8方式で録画すると、Hi8方式対応でないビデオ機器では正常に再生できません。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りACアダプター／チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃〜30℃の環境で、表示窓に「FULL」が表示される（満充電）まで充電することをおすすめします。これ以外では効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から抜くか、バッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、次のことをおすすめします。
  －バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取りつける。
  －高容量バッテリー「NP-FM50/FM70/QM70/QM71/FM90/FM91/QM91（別売り）」を使用する。
- 液晶画面の使用や再生／早送り／巻戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FM50/FM70/QM70/QM71/FM90/FM91/QM91（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が約5〜10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、カセットを入れずに電源が切れるまで撮影スタンバイ状態にしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

海外で使う

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10は、全世界の電源（AC100V〜240V・50/60Hz）でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、**電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。**

電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

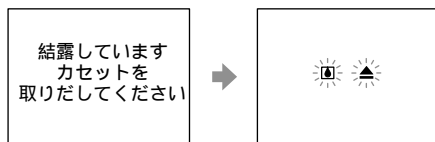
- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで「ETC 時差補正」を選べば、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは54ページをご覧ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

（5秒間表示）

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、EJECT（カセット取出し）ボタン以外は働きません。

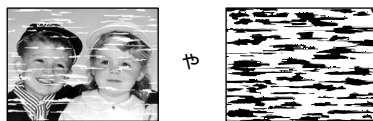
電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLD/V8-25CLDRを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

ビデオヘッドがさらに汚れると青一色の画面になります。
このような画像になったら、
クリーニングカセットをお使いください。

レンズのお手入れおよび保管について

- レンズ面に指紋などがついたときや、高温多湿の場所や、海岸など塩の影響を受ける環境で使用したときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的におこなってください。またビデオカメラレコーダーを良好な状態で長期にわたってご使用いただくためにも、月に1回程度、ビデオカメラレコーダーの電源を入れて操作することをおすすめします。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

次のページへつづく

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し**半年近く**全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

本機を付属のACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン FM方式
録音方式	回転2ヘッド、FM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
録画／再生時間	SPモード：2時間 LPモード：4時間（120分テープ使用時）
早送り、巻き戻し時間	約5分（120分テープ使用時）
ファインダー	電子ファインダー（白黒）
撮像素子	4.5 mm（1/4 型）CCD固体撮像素子 総画素数：約32万画素 有効画素数：約20万画素
ズームレンズ	20倍（光学）、240倍（デジタル） f=3.6〜72mm （35mmカメラ換算では41〜820 mm） F1.4〜2.9 フィルター径37mm
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	2 lx（ルクス）（F1.4） 0 lx（ルクス）（NIGHTSHOT時）

出力端子

S映像出力端子	4ピン　ミニDIN Y出力　1Vp-p 75Ω不平衡 C出力　0.286Vp-p 75Ω不平衡
音声／映像出力端子	AVミニジャック 映像：1Vp-p 75Ω 不平衡、同期負 音声：327mV（47kΩ負荷時） インピーダンス2.2kΩ以下 モノラルミニジャック （ø3.5）

液晶画面

画面サイズ	6.2 cm (2.5型)
総ドット数	61 600ドット 横280×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC IN入力8.4V
消費電力（バッテリー使用時）	1.9W （ファインダー使用時） 2.6W （液晶画面使用時、明るさ標準）
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	–20℃〜+60℃
外形寸法 (最大突起部をのぞく)	約90 × 102 × 197mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約 850g（本体のみ）
撮影時総質量*	約 1.0 kg * バッテリーNP-FM30、120分テープ、レンズキャップ含む。
付属品	ACパワーアダプターAC–L10（1） バッテリーパック NP–FM30（1） ワイヤレスリモコン（1） 単3形乾電池（リモコン用）（2） AV接続ケーブル（1） レンズキャップ（1） 取扱説明書（1） 安全のために（1） カスタマーご登録のお勧め（1） カスタマーご登録はがき（1） 保証書（1）

ACパワーアダプターAC-L10

電源	AC100~240V、50/60Hz
消費電力	23W
定格出力	DC8.4V、1.5 A
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	–20℃〜+60℃
外形寸法 （最大突起部をのぞく）	約125× 39 × 62 mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約 280g（本体のみ）

バッテリーパックNP-FM30

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	5.0Wh（700mAh）
最大外形寸法	約38.2× 20.5 × 55.6 mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約65g
使用温度	0℃〜+40℃
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

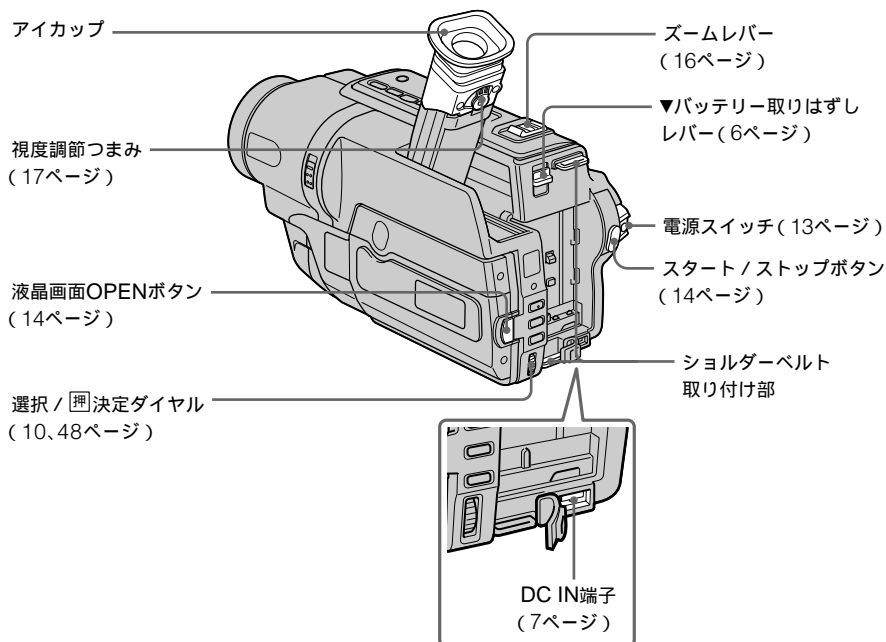
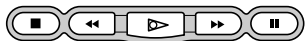
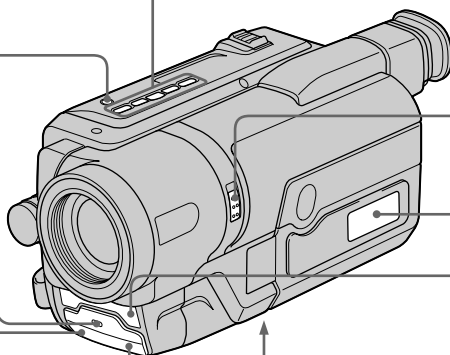
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

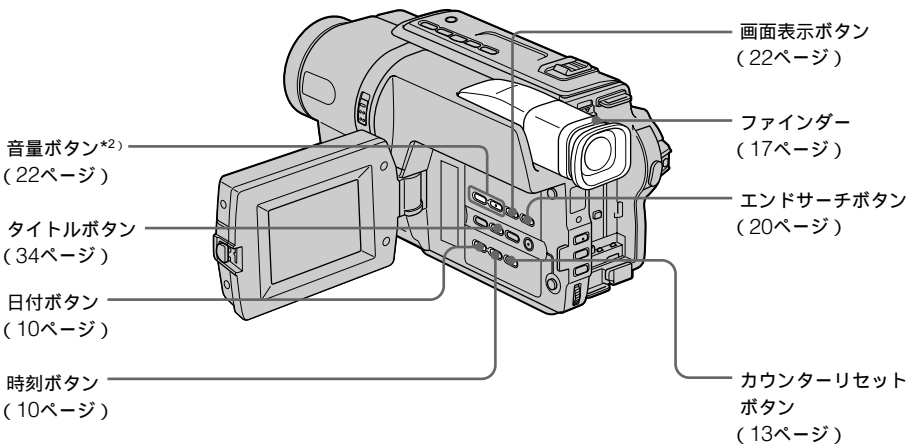
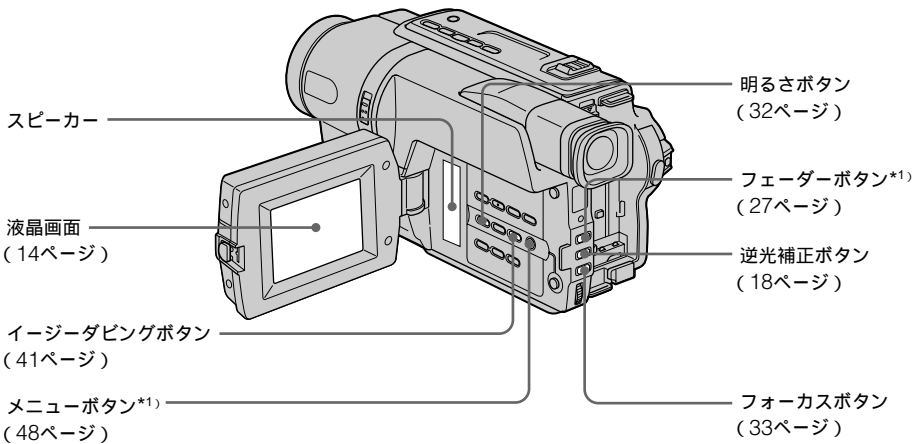
部品の保有期間について

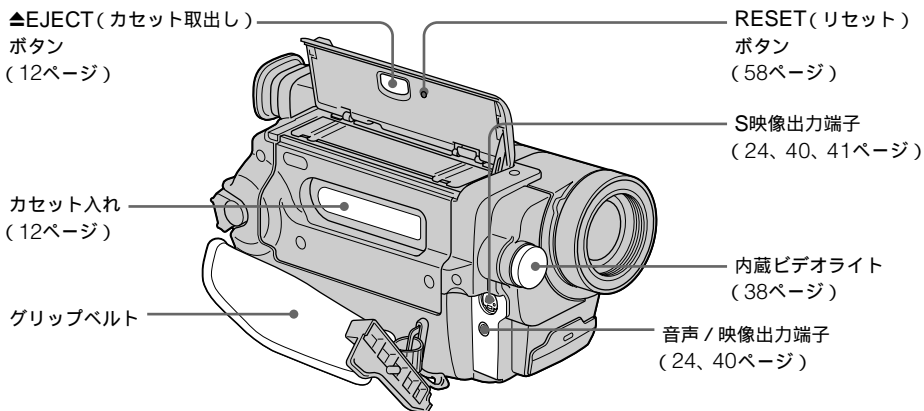
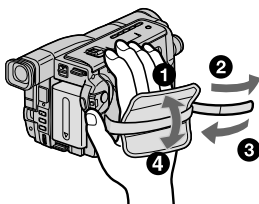
当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

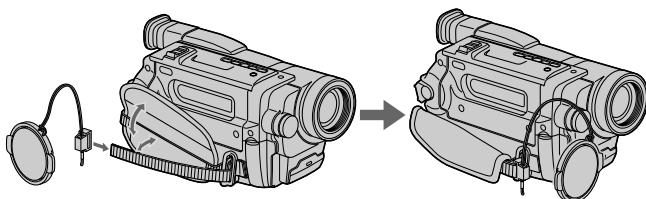
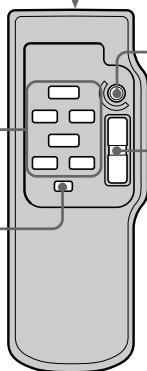
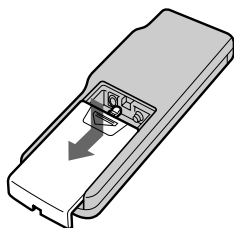
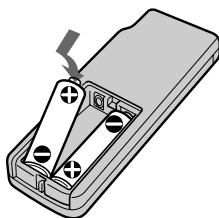
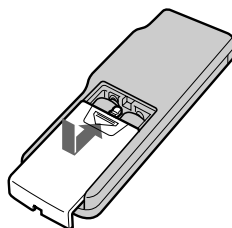
各部のなまえ

使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

各部のなまえ（つづき）

ネジの長さが5.5mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

* ►再生ボタンに凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*1) ボタンに凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*2) 音量「大」の方向に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

グリップベルトのしめかた

グリップベルトはしっかりとしめてください。

レンズキャップの取り付けかた

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。 ❷ 入れる。 ❸ 元に戻す。

リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

次のページへつづく

ファインダーと液晶画面の表示

- **録画モード表示**（13ページ）／**対面撮影表示**（17ページ）
- **ハイエイト表示**（18、62ページ）
- **バッテリー残量表示**（18ページ）
- **ズーム表示**（16ページ）／**明るさ表示**（32ページ）
- **フェーダー表示**（27ページ）
- **ワイドTVモード表示**（25ページ）
- **ピクチャーエフェクト表示**（29ページ）
- **音量調節表示**
- **プログラムAE表示**（30ページ）
- **逆光補正表示**（18ページ）
- **手ぶれ補正「切」表示**（50ページ）
- **手動ピント合わせ表示**（33ページ）
- **内蔵ビデオライト表示**（38ページ）

- **撮影スタンバイ・撮影中表示**（13ページ）／**テープ走行表示**（23ページ）
- **テープカウンター表示**（18ページ）／**自己診断表示**（59ページ）
- **テープ残量表示**（18ページ）
- **エンドサーチ表示**（20ページ）
- **オートデート表示**（11ページ）／**日付表示**（19ページ）
- **時刻表示**（19ページ）
- NIGHTSHOT表示（19ページ）
- **警告表示**（60ページ）
- **録画ランプ**（ファインダーのみ）（14ページ）

表示窓の表示

索引

カスタマーご登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマーご登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「デジタルイメージングカスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ カスタマーご登録およびご登録内容の変更はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/di-regi/

■ カスタマーご登録に関するお問い合わせは
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話： 03-5977-7255
受付時間：月〜金曜日　午前10時〜午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、
および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話： 0564-62-4979
受付時間： **月〜金曜日　午前9時〜午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される前にあらかじめ以下の内容をご用意いただきますとより迅速な対応が可能になります。
①お客様のデジタルイメージングカスタマーID
（既にカスタマーご登録されたお客様には
カスタマーIDが発行されています）
②本機の型名（CCD-TRV96K）**および製造番号**
（保証書などに記載されています）

■ ハンディカムスクエア
ハンディカムの活用法やアクセサリー情報、パソコンへの画像取り込み方法を掲載しています。
http://www.sony.co.jp/cam/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。
Printed in Japan

307231402